

- 問1 奈良時代の律令制度のもとでは、租・庸・調や兵役、雑徭といった重い負担が農民に課せられていました。こうした税や労役の負担から逃れるために、本来は男性であるにもかかわらず、戸籍には女性として登録したり、年齢を偽って登録したりする行為を何と呼びますか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
1. 偽籍 2. 浮浪 3. 逃亡 4. 墾田
- 問2 大宰府（現在の福岡県）に赴任した役人である大伴旅人らの交流や、そこから九州の警備に派遣された人々の心情を読み取ることができる資料についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 鎌倉時代に後鳥羽上皇の命でまとめられた、情景の美しさを強調する歌集である。 2. 奈良時代にまとめられた歌集で、防人の歌など地方の人々の歌も収録されている。 3. 飛鳥時代に天武天皇の命で編纂が始まった、日本で最も古い歴史書である。 4. 平安時代に紀貫之らによって編纂された、最初の勅撰和歌集である。
- 問3 唐から来日した鑑真が日本の仏教界にもたらした最大の影響は、僧侶が守るべきルールである「戒律」を伝えたことです。鑑真がこの戒律を伝えたことによって、当時の日本の社会や政治においてどのような変化が生じましたか。その背景と目的に即した説明を選びなさい。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)
1. 最澄や空海のような新しい教えを広める僧侶が次々と現れ、平安時代の仏教の基盤ができた 2. 僧侶としての資格を授ける基準が明確になり、僧侶の質の向上と仏教界の規律が整った 3. それまで禁止されていた僧侶による政治への関与が認められ、僧侶が国の政策を主導した 4. 仏教が民衆の間で広く信仰されるようになり、貧しい人々を救済する社会活動が活発化した
- 問4 奈良時代に、朝廷が唐から鑑真を招いて「戒律」を日本に伝えさせた政治的な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
1. 遣唐使の派遣を停止する代わりに、唐の文化を直接導入する窓口を確保しようとした 2. 平安京への遷都を前に、既存の仏教勢力の影響力を弱めるために新しい教義を導入した 3. 地方の農民に仏教を広めることで、墾田永年私財法による開墾を奨励しようとした 4. 勝手に僧侶を名乗って税を逃れる者が増えたため、僧侶の資格を厳格にして秩序を正そうとした
- 問5 天平文化の特徴として述べた文として、最も適切なものはどれか。 (2016年 北海道公立入試 類似)
1. 渡来人が伝えた技術や仏教の影響を受けた、日本で最初の仏教文化であった。 2. 遣唐使を通じてもたらされた唐の文化の影響を受け、国際色豊かであった。 3. 日本の風土や生活感情に合った、繊細で優美な日本的な文化であった。 4. 禅宗の影響を受け、簡素で気品のある武家文化であった。
- 問6 743年に制定された墾田永年私財法が、その後の日本の社会に与えた影響を説明したものととして、最も適切なものを選びなさい。 (2019年 新潟県公立入試 類似)
1. 土地の所有権が三世代に限定されたため、農民たちは返還時期が近づくにつれて働く意欲を失い、かえって土地の荒廃が進む原因となった。 2. 全ての土地を国家が管理する公地公民の原則がより強固になり、農民には一定の土地が平等に割り振られる班田収授の仕組みが完成した。 3. 開墾した土地の永久私有が認められたことで、貴族や寺院は勢力を広げるため大規模な開墾を進め、荘園と呼ばれる私有地が形成されるきっかけとなった。 4. 全国規模の土地調査が行われるようになり、土地の広さや収穫量を石高という単位で統一して管理する仕組みへと変化した。
- 問7 律令制下で作成された戸籍において、「筑前」という広域の区分の後に空欄A、「嶋」というその下位の区分の後に空欄B、「戸翻川」というさらに下位の区分の後に空欄Cが続く記述形式が見られる場合、A・B・Cに当てはまる地方行政区分の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2023年 青森県公立入試 類似)
1. A:国 B:郡 C:里 2. A:藩 B:郡 C:村 3. A:国 B:里 C:郡 4. A:道 B:府 C:県
- 問8 710年に現在の奈良市にあたる場所に造営され、唐の都である長安をモデルとして碁盤の目状に区画された都の名称を選びなさい。 (2017年 北海道公立入試 類似)
1. 長岡京 2. 平城京 3. 平安京 4. 藤原京
- 問9 大化の改新を主導した中大兄皇子の時代から、源頼朝が鎌倉幕府を開くまでの歴史において、平城京を都とした奈良時代を代表する天皇は誰ですか。 (2016年 愛媛県公立入試 類似)
1. 卑弥呼 2. 聖武天皇 3. 清少納言 4. 北条時宗
- 問10 奈良時代末期に大伴家持らによって編纂されたとされる、日本に現存する最古の歌集として適切なものを次のうちから選びなさい。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
1. 万葉集 2. 日本書紀 3. 古今和歌集 4. 新古今和歌集
- 問11 奈良時代、相次ぐ疫病や政治的な混乱による社会不安を鎮めるため、聖武天皇が仏教の力で国家の安定を図ろうとした政策について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 広島県公立入試 類似)
1. 大陸から伝わった鉄器や青銅器の製造技術を独占し、全国の主要な拠点に工房を設置した。 2. 地方の治安を維持するために、全国の国ごとに守護を、公領や荘園には地頭を設置した。 3. 下剋上の風潮を抑えるために、各地域の農民が中心となった寺院による自治を認めた。 4. 全国の国ごとに国分寺・国分尼寺を建立し、都には総本山として東大寺を建てた。
- 問12 聖武天皇の時代に、当初は政府から弾圧されていた僧侶の行基が、後に高い位を与えられて大仏の造立に協力することになった理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 遣唐使として唐に渡り、最新の建築技術や土木技術を日本に初めて持ち帰った功績が認められたから 2. 民衆の間で大きな影響力を持っており、大規模な工事に必要な人手や資金を集める役割を期待されたから 3. 地方の国府や国分寺の周辺で発生した反乱を、仏教の教えを用いて鎮圧することに成功したから 4. 鎌倉時代に新仏教を興した開祖たちと同様に、厳しい修行を通じて国家の安泰を祈願したから
- 問13 律令国家において、「班田収授法」に基づき人々に与えられた「口分田」の仕組みについて、正しく説明しているものはどれですか。 (2018年 大阪府公立入試 類似)
1. 戸籍に登録された6歳以上の男女に与えられ、本人が死ぬと国に返還する決まりだった。 2. 戸籍に登録された15歳以上の男子のみに与えられ、子孫が代々受け継ぐことができた。 3. 有力な貴族や寺院に対してのみ与えられ、その収穫はすべて個人の利益となった。 4. 新しく土地を開墾した者に与えられ、その者の私有地として永久に所有することが認められた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 偽籍	律令国家が農民に課した庸・調や兵役、雑徭といった重い負担は、主に成人男性（正丁）が対象となっていました。これに対し、女性の税負担は男性に比べて極めて軽かったため、農民たちは生活を守る手段として、戸籍上で性別や年齢を偽ることで負担を回避しようとししました。この行為は、律令制による人民支配が困難になっていく背景の一つとなりました。
問2	答え 2 奈良時代にまとめられた歌集で、防人の歌など地方の人々の歌も収録されている。	万葉集には、大宰府で「梅花の宴」を開いた大伴旅人や山上憶良といった貴族の歌のほかに、東国から九州へ派遣された「防人」の切実な思いを詠んだ歌が多数収録されています。このように、身分を問わず多様な人々の作品が集められている点が、後の勅撰和歌集（古今和歌集など）とは異なる大きな特徴です。
問3	答え 2 僧侶としての資格を授ける基準が明確になり、僧侶の質の向上と仏教界の規律が整った	奈良時代、税の免除などを目的に勝手に僧侶を名乗る者が増えたため、国は仏教界の混乱を懸念していました。鑑真が「戒律」を伝え、授戒（規律を授ける儀式）の制度を確立したことで、国が認めた正規の僧侶とそうでない者を明確に区別できるようになりました。これは国家による仏教統制の一環でもありました。
問4	答え 4 勝手に僧侶を名乗って税を逃れる者が増えたため、僧侶の資格を厳格にして秩序を正そうとした	当時の日本では、僧侶になれば租・庸・調などの税が免除されたため、勝手に僧侶を名乗る「私度僧（しどそう）」が急増していました。国家は仏教による統治を安定させるため、鑑真を招いて正式な儀式（授戒）を受けた者だけを僧侶と認める仕組みを作り、仏教界の規律を正そうとしました。
問5	答え 2 遣唐使を通じてもたらされた唐の文化の影響を受け、国際色豊かであった。	天平文化は、聖武天皇の時代に栄えた文化で、唐（中国）の盛んな文化を積極的に取り入れたため、国際色が非常に豊かである点が特徴である。日本の風土に合った文化は平安時代の国風文化、日本で最初の仏教文化は飛鳥文化、禅宗の影響を受けた簡素な文化は室町時代の東山文化などの説明にあたる。
問6	答え 3 開墾した土地の永久私有が認められたことで、貴族や寺院は勢力を広げるため大規模な開墾を進め、荘園と呼ばれる私有地が形成されるきっかけとなった。	墾田永年私財法によって土地の永久私有が認められると、財力や労働力を持つ貴族や寺院は、周辺の農民を使って盛んに開墾を行い、自らの私有地を広げました。これが「初期荘園」の始まりであり、国家が土地と人民を直接支配する「公地公民」の原則が崩れていく大きな転換点となりました。
問7	答え 1 A:国 B:郡 C:里	律令制度の地方行政区分は、広い範囲から順に「国（くに）」・「郡（こおり）」・「里（り、のちに郷）」と定められていました。「筑前」は国名、「嶋」は郡名に該当するため、この順序が適切です。「道・府・県」は現代、「藩」は江戸時代の区分です。
問8	答え 2 平城京	元明天皇の時代に唐の長安にならって建設された都で、ここを中心に律令国家の政治が行われた。
問9	答え 2 聖武天皇	聖武天皇は奈良時代の中核を担った天皇です。飛鳥時代（中大兄皇子ら）と鎌倉時代（源頼朝ら）の間の時期にあたる奈良時代において、仏教による国家の安定を目指しました。
問10	答え 1 万葉集	奈良時代の天平文化を代表する作品であり、全20巻から構成されています。大伴家持が最終的な編纂に関わったと考えられており、約4500首もの歌が収められています。平安時代に編纂された古今和歌集などと混同しないよう注意が必要です。
問11	答え 4 全国の国ごとに国分寺・国分尼寺を建立し、都には総本山として東大寺を建てた。	聖武天皇は、仏教の教えによって国を護る「鎮護国家（ちんごこっか）」の思想に基づき、社会の混乱を収めようと考えました。その一環として、741年に「国分寺建立の詔（みことのり）」を出し、全国の令制国ごとに国分寺と国分尼寺を建てることを命じました。また、都の平城京にはこれらの総本山となる東大寺を建立し、巨大な大仏を造立しました。
問12	答え 2 民衆の間で大きな影響力を持っており、大規模な工事に必要な人手や資金を集める役割を期待されたから	聖武天皇は仏教の力で国を安定させようとして大仏の造立を計画しましたが、それには膨大な労働力と寄付（資金）が必要でした。政府は、かつては弾圧していたものの、民衆から絶大な支持を受け、橋やため池の建設を指揮していた行基の協力なしには、この国家的な大事業を完遂できないと判断して彼を重用しました。
問13	答え 1 戸籍に登録された6歳以上の男女に与えられ、本人が死ぬと国に返還する決まりだった。	大化の改新以降、土地と人々はすべて天皇のものとする「公地公民」の原則が立てられました。これに基づき、政府は戸籍を作成して人々の把握に努め、6歳以上の男女に一定の土地（口分田）を貸し与える班田収授法を実施しました。この土地はあくまで国から借りているものという位置づけであったため、本人が亡くなると国に返す必要がありました。